

特集

「ケルト」にまつわる書物をめぐって
— 装飾や挿絵を中心に —



左上『ケルズの書』キリストの肖像(f. 32v)
と二重腕の十字架のカーペット・ページ(f. 33r)

右上『リンディスファーン福音書』十字架
のカーペット・ページ(f. 210v)とヨハネ
福音書の冒頭In principio...の装飾
頭文字(f. 211r)

下『ダロウの書』15の円のカーペット・
ページ(f. 85v)とマルコ福音書の冒
頭Initium...の装飾頭文字(f. 86r)

CONTENTS

- 特集 「ケルト」にまつわる書物をめぐって — 装飾や挿絵を中心に — 名誉教授 三好 みゆき
- 文学部 西川 広平教授ゼミ主催展示「戦国の世のいさ 学生が古文書から読み解く戦の実像」を開催
- 日・EU フレンドシップウィーク企画展示「オットー・ハプスブルク—その生涯と遺産」を開催
- 就活に役立つ! 企業・業界研究セミナー
- ご存じですか? RapidILL
- 新取資料紹介 中央大学教職員著作目録・資料目録 (2024.4~2024.9)



「ケルト」にまつわる書物をめぐって

— 装飾や挿絵を中心に —

名誉教授 三好 みゆき

アイルランド、スコットランド、ウェールズ、フランスのブルターニュ地方などに残る言語、その話者、かれらの伝統文化を語るのに「ケルト」という言葉がよく使われる。本学ではこの「ケルト」文化の研究も盛んに行われてきた。20数年にわたってその一翼を担った人文科学研究所のケルト研究チームはすでに幕を降ろしたが、その成果は4冊の研究叢書『ケルト 伝統と民俗の想像力』(1991年)、『ケルト 生と死の変容』(1996年)、『ケルト復興』(2001年)、『ケルト 口承文化の水脈』(2006年)と翻訳叢書『ケルティック・テキストを巡る』(2013年)などに残る(図1)。本稿では中央図書館での企画展示によせて、本学所蔵の「ケルト」にまつわる美しい書物のほんの一部をご紹介します。



◆ 図1 ケルト研究チームによる研究叢書と翻訳叢書。



三大ケルト装飾写本

アイルランドの文化として何が思い浮かぶだろうか。音楽やダンス、ハーブ、妖精伝説、アイルランド語(ゲール語)と英語の二言語使用、ギネスビールやパブ、聖パトリックの祝日のパレード、もしかすると石造りのケルト十字と円塔のそびえる修道院の廃墟を思い浮かべた方もいるかもしれない。石の高十字架やタラ・ブローチなどの金工品とともに初期中世アイルランド美術を代表するのが、ブリテン諸島のアイルランド系修道院で筆写・彩飾された聖書の写本である。本学図書館には「三大ケルト装飾写本」(あるいは「三大島嶼装飾写本」)と称されるラテン語福音書のファクシミリ版が揃っている。年代順にあげると『ダロウの書』(トリニティ・カレッジ・ダブリン所蔵)、『リンディスファーン福音書』(大英図書館所蔵)、『ケルズの書』(トリニティ・カレッジ・ダブリン所蔵)である。本物のオーラには欠けるが、書物の歴史上きわめて名高い三写本を本の形で見比べるとという贅沢ができる。

歴史的背景を説明しておこう。キリスト教の伝来(5世紀初め)以前のアイルランドは、ドルイドが祭祀をつかさどり、靈魂



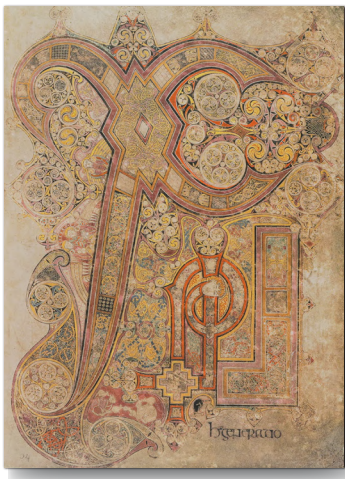
◆ 図2 『ダロウの書』のカーペット・ページ。左(f.3v)は渦巻文様やトランペット・パターン、右(f.192v)は動物組紐文様や組紐(結び目)文様。

不滅を信じ、岩石、樹木、泉、聖獣などをあがめる自然崇拝の多神教であったが、聖パトリックらのいわば(文化適応)的な宣教によってキリスト教の受容が進むと、「民族固有の社会・文化風土に適応した」⁽¹⁾ 独特の修道院制度が形成され、「聖人と学者の島」と称された。修道士たちは海を漕ぎ渡り、西ローマ帝国滅亡やゲルマン民族の大移動で混乱する

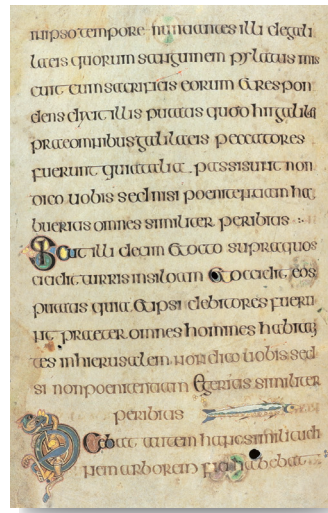
ヨーロッパ大陸やブリテン島北部に、信仰と学芸の光をもたらし各地に修道院を創設。だが独自性の強かったアイルランド教会はウィットビ教会会議(664年)などにより、ローマ式の慣行を次第に受け入れる。修道院の写字室のイメージは、ウンベルト・エーコ原作の映画『薔薇の名前』や写字生が書き残した白猫パンガ・ボンの詩などでわかるだろう。

7世紀末にアイルランドのダロウで制作された『ダロウの書』は、現存する「ケルト装飾写本」の最古のもの。他の写本ほど豪華ではないが、インシュラー体という書体も特有の装飾も出揃っている。アイルランド系修道院で制作された写本は、地中海文化圏のような具象的な〈挿絵〉ではなく、抽象的な文様による〈装飾〉を用いるが⁽²⁾、この書にも挿絵はない。各福音書の扉にあたる〈カーペット・ページ〉(図2)は、「ケルト文様」と呼ばれる渦巻文様、組紐文様、動物文様などで色鮮やかに飾られる。新たな信仰の表現に異教時代からの伝統を盛り込んだと言えようか。入れ子状になったり連なったりして果てしなく巡回する渦巻には妖しい魅力があり、頭と足のはえた動物組紐は互いを噛み、絡み合い、始点も終点も知れない。四福音書は大きな〈装飾頭文字〉で麗々しく始まる(表紙写真下)。

『ケルズの書』は、「ケルト装飾写本」の最高峰である。800年頃、スコットランド西岸沖のアイオナ修道院で着手され、ヴァイキング襲撃からの避難先アイルランドのケルズで完成したとも言われる。豪華絢爛で、人間業とは思えないほど精緻な文様に驚嘆する。図3は有名な〈キー・ロー・ページ〉、つまりマタイ福音書1章18節「イエス・キリストの誕生の次第は…」のキリストの組合せ文字XPIのページだが、流れるような巨大なXの文字とその内部や周囲を埋め尽くす組紐文様や渦巻文様が、神の子の誕生を荘厳に演出する。と同時に、なにやら異様な感じもするだろう。細部に目をこらすと、組紐の絡み合いや渦巻の連なりには、場違いなような動物の「うごめき」が感じられ、Pの字の先端には人間(キリストだという)の頭部が横向きについている。聖餅とネズミとネコといった不可解なものも描かれている。本文ページ(一例として図4)に散りばめ



◆ 図3
『ケルズの書』のキー・ロー・ページ(f. 34r).



◆ 図4
『ケルズの書』の本文ページ(f.243v)(ルカ福音書13章)の装飾。Sicut...の装飾頭文字と節末の魚の絵。次節の冒頭Diの合字は絡み合う生き物が形作る。

られた小さな装飾は、節の区切りや強調などの役目を果たすが、奇妙なポーズの人間や絡み合う異形の生き物⁽³⁾など、一見本文と関係なさそうな意匠も多く、ユーモラスな余談や脱線のようにもあり大真面目なようでもある。



◆ 図5 『リンディスファーン福音書』 左(f.29r)はキー・ロー・ページ、右(f.137v)は福音書記者ルカの肖像とそのシンボルである翼のある牡牛。

『リンディスファーン福音書』は、700年頃、イングランド北部ノーサンブリア北東岸沖のリンディスファーン修道院にて制作。「ケルト文様」や装飾頭文字で飾られ、『ダロウの書』より豪華で洗練され、『ケルズの書』より明るく軽やかな印象だ(図5)。物語を絵解きする〈挿絵〉はないが(『ケルズの書』には2枚ある)、福音書記者の肖像の描き方が他と異なる。ローマ教会との関係が密接になったこの修道院が、地中海文化圏の写本の影響を受けて新たな展開をみせたと言えよう。

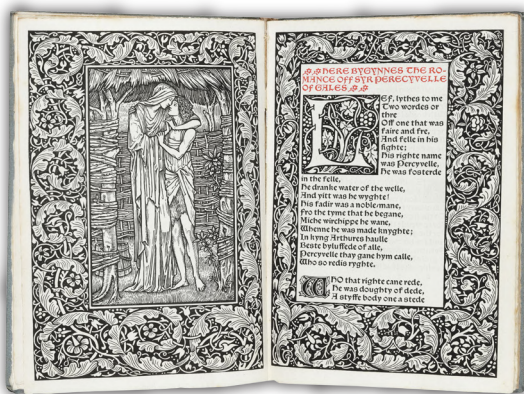
「ケルト装飾写本」の様式はハイパーノ・サクソン様式というが、そこに流れ込んでいる文化の水脈は、ケルト、サクソン、ゲルマンはもちろん、ローマやビザンチンなどの地中海文化、さらには中東などに及ぶ。こうした文化の伝搬と人の往来、想像力と手の技、美意識の違い、キリスト教と「ケルト」の思考との葛藤・融合・変容などに思いをはせながら、異種混交的で重層的な文様の迷宮をしばし彷徨うのもよいだろう。

「ケルト復興」期の書物

18世紀後半、ロマン主義の思潮が胎動する頃、民族の起源やヨーロッパ文明の古層の探求、精神性の希求などと連動しながら「ケルト」への関心が芽生える。スコットランドの詩人ジェイムズ・マクファースンがハイランド地方で集めたゲール語の古歌を翻訳したと称する一連の詩集によって、一大ブームと真贋論争が起きた(1762年の『フィンガル』が本学図書館にある)。これがきっかけとなり、古い写本や口承に残るケルト諸語の詩歌や物語の蒐集・英訳の機運が高まる。その例

を本学所蔵資料からランダムにあげると、シャーロット・ブルック『アイルランド詩の遺産』(1789年)、J・F・キャンベル『ハイランド西部の民間伝承』(1860-62年)、シャーロット・ゲスト『マビノギオン』(1巻本、1877年)、スタンディッシュ・ヘイズ・オグレイディ『ゲール詞華集』(1892年)などである。

MyCUL45号で取り上げられたアーサー王物語も、19世紀英国でよみがえり、中世の写本や初期印刷本からインスピレーションを得た美しい書物となった。たとえばウィリアム・モリス⁽⁴⁾は、アーサー王物語を題材とした若き日の詩集『グウィネヴィアの弁明』その他の詩』(1892年)や、愛読していた中英語の物語『ウェールズのサー・パーシヴァル』(1895年)を、植物文様の縁飾りや装飾頭文字、挿絵を添えてケルムスコツ



◆ 図6 ケルムスコツ・プレス版『ウェールズのサー・パーシヴァル』の口絵(バーン=ジョーンズ画)と冒頭のページ。騎士になろうと、母のもとから旅立つ少年パーシヴァル。

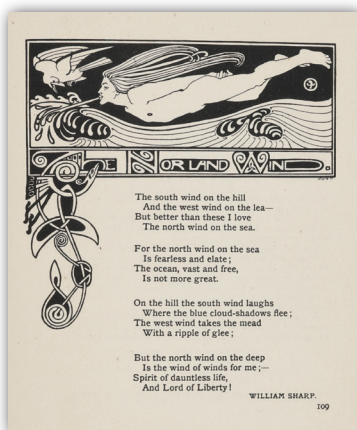


◆ 図7

J.M.デント版『アーサー王の死』の挿絵「マーリン、幼いアーサーを預かる」(ピアズリー画、第1巻7頁)。右側の縁飾りにひそむ怪物にも注目。

◆ 図8

『エヴァーグリーン』春号(109頁)掲載の詩“The Norland Wind”と装飾(ジョン・ダンカン画)。上部の装飾にはアール・ヌーヴォーやジャポニスムの要素も。ウィリアム・シャープ(筆名フィオナ・マクラウド)は一人二役でケルト復興を牽引。



◆ 図9 『アイルランドのおとぎ話』のタイトルページと「トウアン・マクカリルの物語」からの挿絵(パーソン族が来寇した太古のエリンの森や平原の動物たち)。

ト・プレスで制作した(図6)。出版業者J.M.デントは、キャクストン版のトマス・マロリー『アーサー王の死』(1485年)を、オーブリー・ピアズリーの出世作となる挿絵入りで出版した(1893-94年)(図7)。

この時代のスコットランドやアイルランドにおける「ケルト復興」にかかわる書物には、19世紀に再び日の目を見た『ケルズの書』らの装飾から影響を受けた「ケルト」的なデザインが

あふれた。本学所蔵資料から少しだけ紹介する。パトリック・ゲッデスらによる美術文芸誌『エヴァーグリーン』(1895-97年)の挿画には、「ケルト文様」のアレンジが随所に見られ、図8のウィリアム・シャープの詩題の装飾頭文字Tも見事だ。シャープ夫人らが編纂した古今の「ケルト」詞華集『ケルトの竖琴』(第2版1924年)は動物組紐文様の背表紙が美しい。また、ジェイムズ・スティーヴンズ(ジョイスの友人)による神話伝説の再話

『アイルランドのおとぎ話』(1920年)を飾るアーサー・ラッカムの挿画(図9)でも、組紐文様が絡まりつき独特の雰囲気醸し出す。贈答用美装本の時代でもあった。

今年の大阪・関西万博のアイルランド館のデザインは3つの渦巻きの組合せ「トリスケル」が基だそうだが、今も「ケルト的なもの」は想像力や創造性を刺激し続けているようだ。

- (1) 盛節子「アイルランドのキリスト教受容」、中央大学人文科学研究部編『ケルト 伝統と民俗の想像力』(中央大学出版部、1991年)、48頁。
- (2) 鶴岡真弓『ケルト／装飾的思考』(ちくま学芸文庫)(筑摩書房、1993年)、57～66頁。本稿の執筆にあたっては同書に多くを負っている。
- (3) 『マールドゥーンの航海』などで語られる異界の生き物が想起される。アイルランドの航海譚・冒険譚に関しては、松村賢一「冒険と航海の物語」(『ケルト 伝統と民俗の想像力』所収)、「異界と海界の彼方」(『ケルト 生と死の変容』所収)を参照のこと。
- (4) ウィリアム・モリス著、ウィリアム・S・ピーターソン編、川端康雄訳『理想の書物』(ちくま学芸文庫)(筑摩書房、2006年)を参照。

本文中で言及した書籍の資料情報は順に下記の通り。

The Book of Durrow. Urs Graf-Verlag, 1960.
Lindisfarne Gospels: Evangeliorum quattuor Codex Lindisfarnensis. Faksimile-Verlag, c2002.
The Book of Kells. Faksimile Verlag, 1990.
Macpherson, James. *Fingal: an Ancient Epic Poem, in Six Books*.... T. Becket and P. A. De Hondt, 1762.
Brooke, Charlotte. *Reliques of Irish Poetry*.... George Bonham, 1789.
Campbell, J. F. *Popular Tales of the West Highlands: Orally Collected*.... Edmonston and Douglas, 1860-62. 4 vols.
Guest, Charlotte, Lady. *The Mabinogion*.... [2nd ed.], Bernard Quaritch, 1877.
O'Grady, Standish Hayes. *Silva Gadelica*.... Williams and Norgate, 1892.
Morris, William. *The Defence of Guenevere and Other Poems*. Kelmscott Press, 1892.
Syr Percyvella of Gales.... Overseen by F. S. Ellis. Kelmscott Press, 1895.
Malory, Thomas. *The Birth, Life and Acts of King Arthur*.... Illus. by Aubrey Beardsley. J.M. Dent, 1893-94. 3 vols.
The Evergreen: a Northern Seasonal.... P. Geddes and Colleagues, 1895-97. 4 vols.
Sharp, E. A. and J. Matthay, eds. *Lyra Celtica: an Anthology of Representative Celtic Poetry*. 2nd ed., J. Grant, 1924.
Stephens, James. *Irish Fairy Tales*. Illus. by Arthur Rackham. Macmillan, 1920.

文学部 西川広平教授ゼミ主催展示 「戦国の世のいくさ」を開催

期間：2025年6月25日(水)～7月21日(月)

この展示は、西川広平教授(文学部)と、日本史学専攻・西川ゼミの4年次学生、ならびに学芸員資格課程の博物館実習に参加する学生の協力により、制作されました。

中央大学図書館が所蔵する戦国時代の古文書を通して、戦乱が続いた戦国時代の合戦の状況や、その後の統治の様子、また、戦国時代の城跡や古戦場が、江戸時代に旧跡として語り継がれ、地域の歴史や文化にどのように影響を与



えたのが紹介されています。

この展示の制作過程では、学生たちがキャプションの作成や、資料の配置などを自ら行い、古文書の取扱いに関する知識や技術を身につける貴重な経験となりました。特に、普段触れることの少ない古文書に対して緊張しながらも、西川教授の丁寧な指導のもと、真剣に取り組む姿が印象的でした。

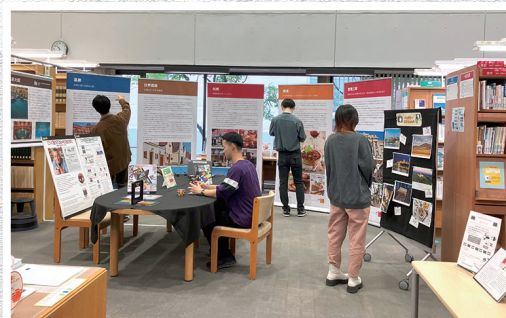
日・EU フレンドシップウィーク企画展 「オットー・ハプスブルクー その生涯と遺産」を開催

2025年5月29日(木)から6月17日(火)まで、中央大学中央図書館2階展示スペースおよび国際機関資料室において、日・EU フレンドシップウィーク企画展「オットー・ハプスブルクー その生涯と遺産」を開催しました。本展は、駐日ハンガリー大使館、リスト・ハンガリー文化センターとの共催により実施されたものです。

展示では、「ひとつのヨーロッパ」の理念のもとに行動したオットー・ハプスブルクの足跡に光を当て、その思想と業績を紹介。第二次世界大戦期の人道的活動や、戦後の汎ヨーロッパ連合での活動、欧州議会議員としての取り組みなど9つのテーマに分けたパネルでたどり、平和と協調を重ねる「寛容の精神」や「ひとつのヨーロッパ」を目指した先見性を伝えました。また、日本の指導者との交流など、日本との深い関わりにも焦点を当てました。展示会場には、駐日ハンガリー大使のご挨拶も掲示されました。



第2会場となった国際機関資料室では、ハンガリーの歴史と文化を幅広く取り上げました。世界遺産ブダペストの街並みや、温泉文化をはじめ、刺繍や磁器といった伝統工芸、特色ある料理や固有動物まで写真と映像で紹介しました。さらに、ルービックキューブ体験コーナーやノーベル生理学・医学賞受賞者カタリン・カリコ博士の言葉を紹介するなど、来場者が楽しみながら学べる工夫も加えられました。



会期中には、リスト・ハンガリー文化センターのメレーニ・クリスティーナ所長も来館し、展示をご覧になりました。本展の様子はハプスブルク財団のウェブサイトでも紹介され、国際的な注目を集めています。



期間中はEUクイズにも多くの方が参加し、正解者にはEU公式グッズが贈られました。来場者からは「ハプスブルク家が現代史に与えた影響を初めて知った」、「ぜひハンガリーを訪問したい」との感想が寄せられるなど、盛況のうちに幕を閉じました。本展は、国際理解を深めるとともに、現代社会に通じるオットー・ハプスブルク氏のメッセージを再発見する貴重な機会となりました。

就活に役立つ！ 企業・業界研究セミナー

データベースを活用した企業・業界研究！
他の志望者とは一味違う分析で、
ライバルに差をつけよう！



日経各紙の記事・企業情報
などの収集をサポート！



就職四季報や業界地図を
オンラインで読みたい！



有価証券報告書(ユーホー)から
国内企業の情報を徹底比較！



これから
業界研究をしようと
思っていたので
ぜひ活用したい！

志望企業の
比較に有用な
情報を知ることが
できた！

開催例 (2025年5月)

「有報(ユーホー)で企業を徹底分析！～eol活用術～
(対面+オンラインのハイブリッド開催)

eolは、企業が金融庁に提出する「有価証券報告書」を元に、各社の動向、業績などを簡単に把握できるデータベースサービスです。

有価証券報告書はフォーマットが決められているため、同業他社と比較しやすいという特長があります。eolを活用することで、志望企業、ライバル関係にある企業について、各種業績はもちろん、事業の強みや弱み、課題、リスク情報を比較・分析することが可能です！

当日は図書館での対面とライブ配信を行い、eol提供会社の専門スタッフが直接利用方法を解説！会場の参加者は説明資料を手に、熱心に講師の説明に耳を傾けていました。

アーカイブ動画はコチラ (在学生限定)

<https://sites.google.com/g.chuo-u.ac.jp/library-online-event/>

※eol以外のセミナーも視聴可能です！



毎年キャリアセンターと共催で、新聞や企業情報・就職四季報などのデータベースを用いた「企業・業界研究セミナー」を実施しています！

信頼できる情報が沢山詰まった新聞・データベースを用いて、情報をどう効率的に引き出すのか。セミナーの開催を通じて、図書館とキャリアセンターは学生生活・就職活動を応援していきます！



RapidILL



到着が早い！
費用が安い！
印字が綺麗！

図書館では、2024年12月より、海外文献の複写(コピー)を取寄せる新しいサービス「RapidILL(ラピッドアイエルエル)」を導入しています。

[RapidILLとは?]



ILLの文献複写を全世界と電子送信で行うプラットフォームです。

世界の約600機関で利用されています。電子送信なので迅速に入手可能です！

※お渡しの際は紙媒体となります。電子送信は行っておりません。

※各図書館のカウンターにて受領してください。

[申込方法は?]



これまで通りILLの文献複写をお申込みください。図書館側で、RapidILLで入手可能な文献かお調べします。

RapidILLで入手できた場合、料金は複写代金のみとなります。

RapidILLで入手できなかった場合、これまで通り所蔵館に複写依頼をいたします(複写代金および送料が発生いたします)。

本学にない資料の利用方法(ILLサービス)

https://www.chuo-u.ac.jp/library/library_service/tamacampus/chuo/ill/



[料金・精算は?]



複写代金がかかります(文献の枚数帯に応じた従量課金制)。料金、決済方法の詳細はレファレンスカウンターでご確認ください。

新収資料紹介

教職員著作目録 2024.4 - 2024.9 配架図書一覧 ()は所属学部等

著者名		書名	出版社	出版年月	所蔵館	書誌番号
阿部 幸信 (文)	著	印綬が削った天下秩序：漢王朝の統治と世界観	山川出版社	2024.5	中央館 / 東史 / 法学部	BB01706733
新井 誠 (研) 八合 博喜 (研) ほか	編集代表 編集協力	ESG 投資と信託受託者責任 (高齢社会における信託活用のグランドデザイン 第 2 巻)	日本評論社	2024.3	中央館 / 法学部	BB01701798
伊賀上 菜穂 (総) ほか	編著	ロシア正教古儀式派と国家：権力への対抗と共生	明石書店	2024.2	中央館	BB01701552
河島 伸子、生稲 史彦 (戦論)	編著	クリエイティブ・ジャパン戦略：文化産業の活性化を通して豊かな日本を創出する	白桃書房	2024.6	中央館 / 法学部 / BS	BB01707537
池田 賢市 (文)	著	包括的性教育をはじめめる前に読む本：社会を変える性教育	新泉社	2024.7	中央館 / 教育	BB01709339
井関 正久 (法)	著	ルディ・ドゥチュクと戦後ドイツ	共和国	2024.4	中央館 / 法学部	BB01705715
井田 良 (法務)、高橋 直哉 (法務) ほか	編著	刑法演習サブノート 210 問 第 2 版	弘文堂	2024.3	中央館 / 法学部 / LS / ITL	BB01703172
石井 知雄 及川 淳子 (文)	編著 執筆	ポストコロナにおける中国の労働社会	日本経済評論社	2024.2	中央館 / 中言 / 法学部	BB01702369
大田 美和 (文)	著	かがやけ	北冬舎	2024.6	中央館	BB01709795
岡嶋 裕史 (国情)	著	やさしくわかる岡嶋裕史の情報 1 教室：高校学参	技術評論社	2024.2	ITL	BB01701845
岡嶋 裕史 (国情)	監修	よくわかる高校情報 1 問題集：毎日の勉強と定期テスト対策に	Gakken	2024.4	ITL	BB01705046
岡嶋 裕史 (国情)	著	ネットワークスペシャリスト合格教本	技術評論社	2024.9	ITL	BB01712152
岡嶋 裕史 (国情)、吉田 雅裕 (国情)	共著	はじめての AI リテラシー：基礎テキスト 改訂新版	技術評論社	2024.9	中央館 / 法学部 / 理工 / ITL	BB01712153
奥田 安弘 (名)	著	国際財産法：企業間取引から個人の法律問題まで 第 2 版	明石書店	2024.3	中央館 / LS / ITL	BB01703072
安藤 由香里、小坂田 裕子 (法科)、 北村 泰三 (名)、中坂 恵美子 (文)	著	開かれた入管・難民法をめざして：入管法「改正」の問題点	日本評論社	2024.2	中央館 / 法学部 / LS	BB01701021
海部 健三 (法)、脇谷 量子郎	文	日本のウナギ：生態・文化・保全と国産	山と溪谷社	2024.8	中央館 / 法学部	BB01709887
加賀野井 秀一 (名)	著	感情的な日本語：ことばと思考の関係性を探る	教育評論社	2024.2	中央館	BB01701230
唐橋 文 (文) ほか	編	Women and religion in the ancient Near East and Asia (Studies in ancient Near Eastern records v.30)	De Gruyter	c2023	西史	BB01712299
東京大学附属図書館アジア研究図書館 上原倫理財団寄付研究部門 (U-PAHL) 木村 拓 (文)	編 執筆	東京大学アジア研究図書館デジタルコレクション：2017-2023 = Catalog of the University of Tokyo Asian Research Library digital collections 2017-2023	東京大学附属図書館 アジア研究図書館 上原倫理財団寄付 研究部門 (U-PAHL)	2024.2	中央館 / 東史	BB01706285
柳井 俊二 小島 千枝 (法) ほか	編著 執筆	海と国際法	信山社	2024.3	中央館 / 法学部 / LS / ITL	BB01704347
柳井 俊二 小島 千枝 (法) ほか	編著 執筆	海と国際法 / 柳井俊二編著；鶴田順	信山社	2024.3	中央館 / 法学部 / LS	BB01704347
小林 謙一 (文) 白根 晴大 (文)、西川 広平 (文)、清水 善仁 (文) ほか	編著 執筆	考古資料と歴史史料 (中央大学人文科学研究所研究叢書 82)	中央大学出版部	2024.3	中央館	BB01702141
今まど子 (名)、小山 憲司 (文)	編著	図書館情報学基礎資料 第 5 版	樹村房	2024.3	中央館	BB01702398
佐伯 仁志 (法務) ほか 只木 誠 (法) ほか	編集 編集委員	刑事法の理論と実務：6	成文堂	2024.6	中央館 / 法学部 / LS	BB01706697
酒井 克彦 (法務)	著	裁判例からみる法人税法 4 訂版	大蔵財務協会	2024.4	中央館 / LS	BB01705578
酒井 克彦 (法務)	編著・監修	クローズアップ事業・組織戦略と税務：新時代の企業組織を考える	財經詳報社	2023.12	中央館 / LS / ITL	BB01701690
加賀 美太記、佐久間 英俊 (商) ほか	編著	コンビニエンスストアと日本の流通：流通経済論からの分析	文理閣	2024.4	中央館	BB01703546
塩見 英治 (名)	著	コンビニがわかれば現代社会のビジネスが見えてくる：日本の小売業のイノベーター (創成社新書 69)	創成社	2024.5	中央館 / BS	BB01707994
東京富士美術館 ほか 篠原 典生 (総) ほか	編集 解説	世界遺産大シルクロード展	東京富士美術館	2023.9	総政	BB01701445
ヴォーン・ロウ 庄司克宏 (総政) 小坂田 裕子 (法務)、国松 麻季 (国経)、 小島 千枝 (法)、中坂 恵美子 (文) ほか	著 監訳 訳	かんがえる国際法	白水社	2024.5	中央館 / 法学部 / LS / ITL	BB01704144
杉崎 泰一郎 (文)	著	「聖性」から読み解く西欧中世：聖人・聖遺物・聖域 (創元世界史ライブラリー)	創元社	2024.5	中央館 / 西史	BB01706288
鈴木 博人 (法)	著	里親の法的地位に関する日独比較研究 (日本比較法研究所研究叢書 133. 親子福祉法の比較的研究 2)	中央大学出版部	2024.4	中央館 / 法学部 / LS	BB01705081
田口 善弘 (理)	著	学び直し高校物理：挫折者のための超入門：(講談社現代新書 2738)	講談社	2024.2	中央館 / 法学部 / 理工 / ITL	BB01701658
武石 智香子 (商) ほか	共著	超入門はじめての AI・データサイエンス	培風館	2024.5	中央館 / 法学部 / 理工	BB01703544
武蔵 秀之 (法)	著	政策学講義：決定の合理性 第 3 版	中央大学出版部	2024.5	中央館 / 法学部	BB01706243
玉置 敦彦 (法)	著	帝国アメリカがゆずるとき：譲歩と圧力の非対称同盟	岩波書店	2024.6	中央館 / 法学部	BB01708009
徳永 聡子 土橋 茂樹 (文) ほか	編著 著	神・自然・人間の時間：古代・中近世のときを見つめて	慶應義塾大学 出版会	2024.3	中央館	BB01703301
津野 義堂 (名)	著	西洋法制史	中央大学 通信教育部	2024.2	中央館 / 法学部	BB01701395
中央大学人文科学研究 中村 亨 (商)	編 執筆	ローカリティのダイナミズム：連動するアメリカ作家・表現者たち (中央大学人文科学研究所研究叢書 81)	中央大学出版部	2024.3	中央館	BB01702139
本沢 巳代子、新田 秀樹 (法)	編	トピック社会保障法 2024 第 18 版	不磨書房	2024.4	中央館 / 法学部 / LS	BB01703455
野村 修也 (法務)	著	説得力を高めたい人のための法的思考入門	PHP 研究所	2024.4	中央館 / 法学部 / LS / ITL	BB01703446
原田 喜美枝 (商)	著	データで広がる日本ワインの世界：ワインエコノミクス入門	日本評論社	2024.9	中央館 / 法学部	BB01710777
原田 剛 (法)	著	債権総論講義	成文堂	2024.8	中央館 / 法学部 / LS / ITL	BB01710959
平野 晋 (国情)	著	ロボット法：AI とヒトの共生にむけて 増補第 2 版	弘文堂	2024.5	中央館 / 法学部 / 理工 / LS / ITL	BB01706986
藤田 岳彦 (理) ほか	著	ランダムウォークと確率解析：ギャンブルから数理ファイナンスへ 増補版	日本評論社	2024.3	中央館 / 理工	BB01702928
古田 裕清 (法)	著	論理学 再改訂版	京都大学 学術出版会	2024.2	中央館 / 法学部	BB01701386
松本 悠子 (名)	著	戦場に忘れられた人々：人権とジェンダーの大戦史	中央大学 学術出版会	2024.2	中央館 / 西史 / 法学部	BB01700977
ジェンダー事典編集委員会 松本 悠子 (名) 山田 昌弘 (文)	編 編集委員長 編集委員	ジェンダー事典	丸善出版	2024.1	中央館 / 西史 / 社会 / 法学部	BB01700751
緑川 晶 (文) ほか	編	臨床神経心理学：神経・生理心理学 第 2 版	医歯薬出版	2024.3	心理	BB01706252
村上 研一 (商)	著	衰退日本の経済構造分析：外需依存と新自由主義の帰結	唯学書房	2024.1	中央館 / 法学部	BB01700375
山田 昌弘 (文)	監修	何が問題？格差のはなし：「おいてけぼりの誰か」をつくらない世界のために	Gakken	2023.2	国際機関	BB01704529
山田 八千子 (法務) 安念 潤司 (法務) ほか	編著 執筆	法律婚って変じゃない？：結婚の法と哲学 (法と哲学新書)	信山社	2024.6	中央館 / 法学部 / LS	BB01709425
酒井 敦子 ほか 横山 佐紀 (文) ほか	編著 執筆	国立西洋美術館教育活動の記録：2013-2019	国立西洋美術館	2022	中央館 / 文庫	BB01710036
日本文学アクティブラーニング研究会 吉野 朋美 (文) ほか	編著 執筆	シンポジウムどうする!? 「国語」の探究型学習：高校の探究と大学の研究をつなぐ：報告書	日本文学アクティ ブラーニング研究会	2024.3	国文	BB01706284
米津 孝司 (法務)	著	労働法 (集団的労働法)	中央大学 通信教育部	2024.2	中央館 / 法学部	BB01701391
渡邊 浩司 (経)	監修	アーサー・ワトソン解剖図鑑：ファンタジーと騎士物語の原点	エクスナレッジ	2024.6	中央館	BB01707540
渡邊 浩司 (経) 金澤 忠信 (理)、相田 淑子 (法)、亀井 伸治 (経)、前之崎 聖 (文)、近藤 まりあ (経) ほか	編著 執筆	幻想的存在の東西：古代から現代まで (中央大学人文科学研究所研究叢書 80)	中央大学出版部	2024.2	中央館	BB01700843

